

文部科学大臣表彰 若手科学者賞の受賞に際して

私が笹川科学研究助成に採択していただきましたのは 2019 年度であり、「世界最長の炭素-炭素単結合に基づく新規応答機能の発現」という研究課題でした。当時、助教 4 年目であり、2018 年に報告した 1.8 \AA を超える炭素-炭素単結合を基に、新しい現象を明らかにしたいという一心でした。通常の炭素-炭素単結合は 1.54 \AA という決まった長さを示すのに対し、 1.8 \AA を超える結合の存在を実験的に証明した初めての例であり、ここに何か面白い現象が眠っているはず、という考えから研究提案をさせていただいたことを今でも覚えています。本当に新しい現象が見つかるかどうか不確かであったにもかかわらず、採択という結果を受け取った際は喜びと感謝の気持ちでいっぱいでした。その後、本助成によるご支援のおかげで長く弱い結合の柔軟性を発見するに至り、2020 年には学術論文として報告することができました。

上記の研究以外にも、2019 年から 2020 年にかけてはそれまでの研究が大きく実を結んだタイミングであり、笹川科学研究助成に採択していただいたことがそのきっかけになったと考えております。助成金を受け取るということは得られた成果を広く公表する義務があると捉え、学術論文として発表した研究成果について、本学からプレスリリースを積極的に発信してまいりました。多くの人目に晒されることは、責任と重圧が伴いますが、その分研究に対してより真摯に向き合えるようになったと感じています。これらの積み重ねの結果、研究者として一回りも二回りも成長することができ、2022 年度の文部科学大臣表彰若手科学者賞の受賞につながったと考えております。このような栄誉ある賞をいただくことになりましたのも、研究者としてステップアップするきっかけをくださいました貴財団のご支援のおかげです。この場を借りて関係の皆様へ深く感謝申し上げます。また、日々支えてくださいます共同研究者の皆様へ厚く御礼申し上げます。

2022 年 4 月 18 日

北海道大学大学院 理学研究院化学部門

准教授 石垣侑祐